

2023 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	工業簿記 2 (Industrial Bookkeeping 2) 392107-14-600					担当教員	中村 大輔 (ナカムラ ダイスケ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2 年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL/資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
1 年次配当の簿記入門では商品売買業における基本的な簿記を学んだ。工業簿記 1・2 では製造業における簿記を学ぶ。工業簿記 2 では日商簿記検定 2 級における工業簿記の範囲の中でも応用的な総合原価計算、本社工場会計、標準原価計算、直接原価計算および CVP 分析について学ぶ。本講義は事務・経理職のスペシャリストを目指すために必須の知識であり、日商簿記 2 級対応科目である。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
スライド資料、レジュメ等は Google Classroom を通じて配布する。授業ではインプットが中心になる。アウトプット (問題演習) は復習として必ず行うこと。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「工業簿記 1」「商業簿記 1」「商業簿記 2」と共に履修することを強く推奨する。									
⑤ テキスト (教科書)									
滝澤ななみ(2023)『簿記の教科書 日商 2 級 工業簿記 (第 8 版)』TAC 出版 (出版予定)									
滝澤ななみ(2023)『簿記の問題集 日商 2 級 工業簿記 (第 11 版)』TAC 出版 (出版予定)									
⑥ 参考図書・指定図書									
各年度に対応した予想問題集等。必要に応じて紹介する。									
⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安									
(i) 総合原価計算について理解し、検定試験レベルの問題を解くことができる									
(ii) 本社工場会計について理解し、検定試験レベルの問題を解くことができる									
(iii) 標準原価計算および直接原価計算 (CVP 分析) について理解し、検定試験レベルの問題を解くことができる									

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 総合原価計算の理解	難易度の高い検定試験レベルの仕訳問題を解くことができる	標準的な検定試験レベルの仕訳問題を合格レベルで解くことができる	検定試験レベルの問題は合格レベルに達していないが、基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの仕訳問題について6割程度正答できる	基本的レベルの仕訳問題について正答できるのは6割未満である
(ii) 本社工場会計についての理解	難易度の高い検定試験レベルの原価計算ができる	標準的な検定試験レベルの原価計算問題を合格レベルで解くことができる	検定試験レベルの問題は合格レベルに達していないが、基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの原価計算問題について6割程度正答できる	基本的レベルの原価計算問題について正答できるのは6割未満である
(iii) 標準および直接原価計算についての理解	難易度の高い検定試験レベルの原価計算ができる	標準的な検定試験レベルの原価計算問題を合格レベルで解くことができる	検定試験レベルの問題は合格レベルに達していないが、基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの原価計算問題について6割程度正答できる	基本的レベルの原価計算問題について正答できるのは6割未満である

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%	20%						100%
(i) 総合原価計算の理解	35%	8%						43%
(ii) 本社工場会計についての理解	10%	4%						14%
(iii) 標準および直接原価計算についての理解	35%	8%						43%
フィードバックの方法	小テストは採点して解答解説とともに返却する。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
授業はインプットが中心となるが、それでもできるだけ多くの問題（検定レベルを含む）に触れられるようにし、本質的な理解が進むようにしたい。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	ガイダンス、単純総合原価計算	予習：教科書 CH07 個別原価計算と総合原価計算の違いを理解し、最も単純な総合原価計算ができるようにする。（電卓持参） 復習：教科書 CH07 基本問題	120分
2	工程別総合原価計算	予習：教科書 CH08 該当箇所を読み、累加法における工程別総合原価計算を理解する（電卓持参） 復習：教科書 CH08 基本問題	120分
3	組別総合原価計算	予習：教科書 CH08 該当箇所を読み、累加法における組別総合原価計算を理解する（電卓持参） 復習：教科書 CH08 基本問題	120分
4	等級別総合原価計算	予習：教科書 CH08 該当箇所を読み、累加法における等級別総合原価計算を理解する（電卓持参） 復習：教科書 CH08 基本問題	120分
5	仕損減損の処理	予習：教科書 CH09 該当箇所を読み、総合原価計算における仕損減損の処理について理解する（電卓持参） 復習：教科書 CH09 基本問題	120分
6	材料の追加投入	予習：教科書 CH09 該当箇所を読み、総合原価計算における材料の追加投入について理解する。（電卓持参） 復習：教科書 CH09 基本問題	120分
7	総合原価計算問題演習	予習：教科書 CH07～08 の内容を復習しておく 復習：第4問対策	120分
8	工業簿記における財務諸表、本社工場会計	予習：教科書 CH10～11 を読み、CH11 では特に原価差異の記載方法を理解する。（電卓持参） 復習：教科書 CH10・CH11 基本問題	120分
9	標準原価の計算、仕掛品勘定の記入方法	予習：CH12 標準原価の計算方法と原価差異の把握について理解しておく（電卓持参） 復習：CH12 基本問題	120分
10	直接材料費差異、直接労務費差異の分析	予習：CH12 直接材料費差異と直接労務費差異の分析方法特にボックス図が書けるようにする。 復習：CH12 基本問題	120分
11	製造間接費差異の分析	予習：教科書 CH12 および巻末の参考により製造間接費差異の分析について公式法変動予算、固定予算のどちらも理解できるようにする（電卓持参） 復習：教科書 CH12 基本問題、問題集	120分

		第 5 問対策	
12	標準原価計算問題演習	予習：CH12 の内容を復習しておく 復習：問題集第 5 問対策	120 分
13	直接原価計算の損益計算書と固定費調整	予習：教科書 CH13 全部原価計算と直接原価計算の違いを損益計算書と関わらせて理解する（電卓持参） 復習：教科書 CH13 基本問題	120 分
14	CVP 分析	予習：教科書 CH13 直接原価計算の考え方を応用した CVP 分析について公式ではなく考え方を理解する（電卓持参） 復習：教科書 CH13 基本問題、問題集第 5 問対策	120 分
15	まとめ	予習：CH07～12 の範囲を復習しておく。 復習：問題集第 4 問対策、第 5 問対策	120 分

⑫ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。適宜小テストや課題等を行い、その解説を行うことで知識の定着を図る。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性